山梨学院大学
経営ナビゲーション
―ビジネス革新への航海図

No. ２６－１
平成２６年３月２０日発行
山 梨 中 央 銀 行
法人推進室
甲府市丸の内 1-20-8

山梨中央銀行は、大学等の研究機関が有する知的資産とビジネスの現場とを結びつけ、企業経営のイノベーションや事業機会の創出を支援するリエゾン（橋渡し）活動に取り組んでいます。

本リポートでは山梨学院大学の先生方と、その研究内容を紹介していきます。中小企業のみなさまが肌で感じとったビジネスの現場の空気と、気鋭の研究者たちが取り組むアカデミズムの最前線が出遭うこのリポートが、新たなビジネスの「創発(emergence)」の場となることを期待いたします。

＜第１３回＞

国際交流センターの取り組みについて

原（はら） 百年（ももとし） 先生

（国際交流センター長
法学部　政治行政学科　教授）

≪要点≫

- 国際交流センターは、「学生の留学・研究支援」「外国人留学生の学習・生活支援」「研究者の協力支援」の３つの分野を中心として活動している。
- 外国人留学生の数が、政治・経済などさまざまな要因により減少傾向にある中で、東南アジア諸国からの受け入れを強化している。
- 外国人留学生の中には、日本の企業へ就職を希望する学生がいるため、採用に興味のある企業とのマッチングが期待できる。

■国際交流センターでは、どのような業務を行っているのですか？

国際交流センターは、増加する外国人留学生への支援体制の強化を目的に、２００１年４月に誕生しました。当センターでは、「学生の留学・研究支援」「外国人留学生の学習・生活支援」「研究者の協力支援」の３つの分野を中心として活動しています。

■近年特に力を入れている取り組みは何ですか？

現在、山梨学院大学（以下「本学」という）では約２７０名の外国人留学生の受け入れを行っています。しかし、近年は、政治・経済状況などのさまざまな要因により、外国人留学生の数は減少傾向にあります。

当センターとしては、グローバル化社会に対応できる人材を育成するために、多くの外国人留学生の受け入れが必要であると考えています。特に、今後は東南アジア諸国からの受け入れを強化したいと考えています。

その取り組みの一つとして、平成２５年度は、インドネシアの３つの大学と大学間交流協定を結び、留学生の派遣や受け入れ、教員派遣などによる相互連携を進めています。

また、本学では、将来的に国際系の新学部の設置についても検討を進めています。

■企業と共同で取り組みたいことはありますか？

本学の外国人留学生の中には、日本の企業へ就職を希望する学生がいます。しかし、一般的な就職説明会に参加しても、なかなか就職につながらないというのが実状です。

留学生の受け入れに興味のある企業が合同で、「留学生向けの就職説明会」を開催してはどうかと考えています。地域企業にとって必要な「人材」を育てる場所が大学であり、本学の優秀な留学生をご紹介することで、地域企業のグローバル化の即戦力になればと思います。

今回は、ベトナムからの留学生２名をご紹介します。２名とも留学期間終了後に、日本企業への就職が内定しています。

■留学生にお聞きします。なぜ日本への留学・就職を選択されたのですか？

ベトナムは、非常に親日国であり、ベトナムの大学でも日本語を専攻していました。短期交流事業で山梨県を訪れたことがきっかけで本学に留学することになり、本学で学ぶ間に日本への興味がさらに増し、日本企業への就職を決意しました。

最近では、日本の企業がベトナムに進出する事例も多くなっています。日本企業で働くことで、ベトナムに進出を検討する企業に貢献するなど、両国の掛け橋になれればと考えています。

■国際交流センターから企業に何か伝えたいことはありますか？

本学には、非常に優秀な留学生が多く在籍しています。具体的には、今回紹介した２名は、ＴＯＥＩＣ８００点以上で、簿記の資格も取得しており、日本語検定２級（１級取得予定）と、日常会話だけでなく、ビジネス会話も支障ないものと思われます。

今後のグローバル化社会への対応として、企業における外国人社員の採用が増加していくものと思われます。

本学の外国人留学生の採用等に興味のある企業がありましたら、国際交流センターまで、ご相談ください。

以　上

“外国人留学生の採用等”についてご相談がある方は、
山梨中央銀行 営業統括部 法人推進室
TEL：055－224－1091 まで、お気軽にご連絡・ご相談ください。